

令和5年度

1年 p. 2～15

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
＜導入＞ どんな うたが あるかな ～ 「かたつむり」 (7 時間扱い・4～5 月) ※「ひらいた ひらいた」 「かたつむり」は 共通教材	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、範唱を聴いて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「ひらいた ひらいた」の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【知-②】 「かたつむり」の曲想と拍やリズムなど音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			【技-①】 範唱を聴いて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 拍やその流れ、速度、旋律のもつリズム、強弱、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	【思-①】「ゴー アンド ストップ」の、拍やその流れ、速度や強弱の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。 【思-②】 「かもつれっしゃ」の拍や速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【思-③】 それぞれの音楽の、拍やその流れ、速度、旋律のもつリズム、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。	○			○
	(3) 新しい友達と一緒に歌ったり、音楽に合わせて体などを動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、様々な音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 友達と一緒に歌ったり、音楽に合わせて体などを動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【主-②】 友達と一緒にわらべうたを歌ったり、うたに合わせて体動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

※1年＜導入＞部分の評価については、全学年の評価規準と同様の表記に統一しているが、入学直後の児童の状態を把握していきながら、緩やかに指導を進めていくことが肝要である。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準	歌 唱	器 楽	音 楽 づ く り	鑑 賞
リズムと なかよし (6 時間扱い・ 6～7 月)	(1) 曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりや、身の回りのいろいろな音の特徴について気付くとともに、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせてリズム表現する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりや、身の回りのいろいろな音の特徴について気付いている。			○
			互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。	○		○
	(2) リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズムづくりを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズムづくりを通して音楽づくりの発想を得ている。			○
	(3) 4 分音符や 4 分休符、8 分音符から成るリズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズム表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	4 分音符や 4 分休符、8 分音符から成るリズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

の 扱 め い や 時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	曲想と、リズムやその反復との関わりについて気付くとともに、拍に合わせてリズム表現する技能を身に付ける。	ぶん ぶん ぶん しろくまの ジェンカ ◎ジェンカ	○「たん」「うん」の手拍子や手合せを取り入れながら、拍にのって「ぶん ぶん ぶん」を歌う。 ○ジェンカのリズムパターンを意識して、鑑賞曲「ジェンカ」を聴く。 ○鑑賞曲「ジェンカ」に合わせて、ジェンカのリズムパターンを打ったり、体の動きで表したりする。 ○「しろくまのジェンカ」を、ジェンカのリズムパターンを打ったり、ステップをしたりしながら歌う。	【技-①】 互いの声や伴奏を聴き、拍に合わせて「ぶんぶんぶん」を歌ったりリズム打ちしたりする技能を身に付けている。 【知-①】 ジェンカの曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりについて気付いている。 【主-①】 4 分音符や 4 分休符から成るリズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

2	リズムの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、リズムづくりを通して音楽づくりの発想を得る。	☆たんと うんで リズムをつくろう	○「たん」と「うん」のリズム打ちでまねっこしながら音遊びをする。 ○「たん」と「うん」を組み合わせたリズムをつくる。 ○4人ぐらいのグループでつなげて発表する。 ○体のいろいろなところを打ってリズムを表現する。	【思-①】 4分音符や4分休符から成るリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズムづくりを通して音楽づくりの発想を得ている。 【技-②】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。 【知-②】 身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。
1	リズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	わくわく キッチン	○料理の様子を思い浮かべながら、「わくわくキッチン」を歌う。 ○「たん」と「たた」のリズムを意識しながら、拍にのって歌う。	【主-②】 「わくわくキッチン」の4分音符や4分休符、8分音符から成るリズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

＜コーナー名＞ （扱い時数・扱い月のめやす）	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜おとの スケッチ＞ ことばの リズムで あそぼう （2 時間扱い・7 月）	（1）言葉とリズムとの関わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりする。	知識・技能	【知-①】 言葉とリズムとの関わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
			【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。			○	
	（2）言葉のリズムや楽器の音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	【思-①】 言葉のリズムや楽器の音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。			○	
	（3）言葉とリズムとの関わりの面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、リズムや打楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 言葉とリズムとの関わりの面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌 唱	器 楽	づ く り 音 楽	鑑 賞
<にっぽんのうた みんなのうた> 「うみ」(共通教材) (2 時間扱い・7 月)	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり, 曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに, 自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「うみ」の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり, 曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			【技-①】 「うみ」を, 自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 拍やその流れ, 旋律を聴き取り, それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, 曲想を感じ取って表現を工夫し, どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「うみ」の拍やその流れ, 旋律を聴き取り, それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, 曲想を感じ取って表現を工夫し, どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	(3) 情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち, 音楽活動を楽しみながら, 主体的・協働的に学習活動に取り組み, 日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「うみ」の歌詞の, 情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち, 音楽活動を楽しみながら, 主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
どれみと なかよし (4 時間扱い・9 月)	(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付くとともに、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、音高を体などで表現する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付いている。			○
			階名で模唱したり暗唱したりする技能や、音高を体などで表現する技能を身に付けている。	○		
	(2) 旋律やその変化、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律やその変化、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○		
	(3) 階名と音高との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、階名に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	階名と音高との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	階名と音高との関わりに気付くとともに、曲想と音階との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎どれみの うた	○「どれみのうた」を歌いながら聴き、階名に親しむ。 ○「どれみのうた」を、音高に合わせて体を動かしながら聴く。	【主-①】 階名と音高との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「どれみのうた」の曲想と、音階など音楽の構造との関わりに気付いている。
2	階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けるとともに、旋律やその変化、音階を聴き取り、曲想を感じ取って表現を工夫する。	どれみの キャンディー	○「どれみのキャンディー」の最後の部分に合わせて、< どれみのたいそう>をしながら歌う。 ○「どれみのキャンディー」に合った動きや歌い方を工夫して歌う。	【技-①】 「どれみのキャンディー」の最後の部分を階名で模唱したり暗唱したりする技能や、音高を体などで表現する技能を身に付けている。 【思-①】 「どれみのキャンディー」の旋律やその変化、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
<こんにちは けんぱんハーモニカ> (2 時間＋毎時 9～10 月)	(1) 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに 気付くとともに、鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位 置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、リズム譜な どを見て演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との 関わりに気付いている。	○		
			【技-①】 「ど」の鍵盤の位置、息のつかい方など 基礎的な演奏技能を身に付けている。 【技-②】 鍵盤ハーモニカの扱い方や「どれみふぁ そ」の鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏 技能や、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付 けている。	○		
	(2) 旋律、伴奏の速度やリズムを聴き取り、それらの働 きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表 現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをも つ。	思考・判 断・表現	【思-①】 「まほうのど」の旋律、伴奏の速度やリ ズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ 取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの 関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、 どのように演奏するかについて思いをもっている。	○		
	(3) 鍵盤ハーモニカによる表現に関心を持ち、音楽活動 を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、 鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学 習に取り組 む態度	【主-①】 鍵盤ハーモニカによる表現に関心を持 ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学 習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
もりあがりを かんじて (2 時間扱い・10 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。 ○			
			階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 ○			
	(2) 旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 ○			
	(3) 歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 ○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い めやす 時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と旋律や音階、歌詞との関わりに気付くとともに、曲想を感じ取って表現を工夫する。	ひのまる (共通教材)	○「ひのまる」を歌詞唱する。 ○体を動かしながら階名唱する。 ○旋律のまとまりを感じ取って歌う。 ○もりあがりを感じながら歌う。	【主-①】「ひのまる」の歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【技-①】「ひのまる」を階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。 【思-①】 「ひのまる」の旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【知-①】 「ひのまる」の曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
いい おと みつけて (7時間扱い・11～12月)	(1) いろいろな音の響きの特徴や、音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	いろいろな音の響きの特徴や、音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。			○
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○
	(2) 楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。			○ ○
	(3) 自分や友達の出す音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、様々な楽器の音に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	自分や友達の出す音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	いろいろな音の響きの特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付く。	☆いろいろな おとを みつけよう	○トライアングルで自由に音を出したり、音探しをしたりして、グループ内で一番お気に入りの音を探して発表する。 ○いろいろな楽器で音探しをし、気に入った音の一つ選んで、言葉や絵で表現する。 ○お気に入りの楽器や音で「いい音リレー」をする。	【思-①】 音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。 【知-①】 いろいろな音の響きの特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。

4	音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けるとともに、楽器の音やリズム、呼びかけ合いが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、どのように音を音楽にしていくなについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	☆がっきの おとで よびかけっこしよう	○楽器の音で友達と呼びかけたりこたえたりする。 ○グループごとに楽器の音で<u>呼びかけっこ</u>する。 ○4分音符や8分音符で自分のリズムをつくり、つくったリズムを楽器で呼びかけたりこたえたりしてつなげる。 ○「こうしんきょく」を、呼びかけとこたえに着目して聴く。	【思-②】 楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなについて思いをもっている。 【主-①】 自分や友達の出す音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-②】 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 【技-②】 音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 【思 - ③】 「こうしんきょく」の楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。
---	---	----------------------------	---	---

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜おとの スケッチ＞ ねこの なきごえで あそぼう (3 時間扱い・12 月)	(1) 音高や強弱、声の出し方の変化による表現の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、設定した条件に基づいて即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 音高や強弱、声の出し方の変化による表現の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 【技-①】 設定した条件に基づいて即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) 音高や強弱など多様な声の出し方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりする。	思考・判断・表現	【思-①】 音高や強弱など多様な声の出し方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりしている。			○	
	(3) 声による多様な表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、即興的な表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 声による多様な表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
きょくの なぐれ (3 時間扱い・1 月)	(1) 曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の音色、旋律の反復と変化、拍やその流れなどから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色、拍やその流れなどから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎おどる こねこ	○拍の流れや、鳴き声に合わせて体を動かしながら、「おどるこねこ」を聴く。 ○「おどるこねこ」の曲の進み方を知る。	【主-①】 「おどるこねこ」の楽器の音色、拍やその流れなどから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「おどるこねこ」の曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりに気付いている。
1	楽器の音色や旋律の反復・変化等が生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎おどる こねこ	○曲のよいところ、面白いところを見つけながら、「おどるこねこ」の曲全体を聴く。	【思-①】 「おどるこねこ」の、楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<めざせ がっきめいじん> 「すずめが ちゅん」 (毎時扱い)	(1) 曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付くとともに、範奏を聴いたり、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「すずめがちゅん」の曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付いている。		○		
	(2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「すずめがちゅん」の旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
	(3) 楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「すずめがちゅん」を楽器で演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
うたで まねっこ (4時間扱い・1～2月)	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。	○			
	(2) 歌声を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	歌声を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	(3) 交互唱の面白さや友達との表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、交互唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	交互唱の面白さや友達との表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い めやす 時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と呼びかけとこたえなどとの関わりに気付くとともに、交互唱の面白さや友達との表現に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	もりの くまさん	○「もりのくまさん」をいろいろな強さを試しながら交互唱する。 ○1～5番それぞれの歌詞の内容を考えながら、どのように歌うか意見を出し合って試す。	【知-①】 「もりのくまさん」の曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】 「もりのくまさん」を交互唱する面白さや友達との表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
2	声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けるとともに、交互唱の面白さを感じ取りながら表現を工夫する。	フルーツ ケーキ	○「フルーツケーキ」を、打楽器を加えて歌う。 ○歌う強さをまねたり、違う強さで歌ったりして交互唱する。	【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴いて、「フルーツケーキ」を声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。 【思-①】 歌声を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「フルーツケーキ」の曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌 唱	器 楽	音 楽 づ く り	鑑 賞
みんなで あわせて (3時間扱い・2～3月)	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、拍に合わせリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、拍に合わせリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付けている。	○		○	
	(2) 拍や旋律、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	拍や旋律、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 拍や旋律、楽器の音色などから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	拍や旋律、楽器の音色などから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の 扱 め い や 時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	声を合わせて歌う技能や、拍に合わせリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付けるとともに、曲想とリズムなどとの関わりに気付く。	おもちゃの チャチャチャ ☆リズムを かさねて あそぼう	○「おもちゃのチャチャチャ」を、曲の気分を感じ取り、歌詞の表わす様子を考えながら、リズム打ちして歌う。 ○リズムを重ねて遊ぶ。	【知-①】 「おもちゃのチャチャチャ」の曲想と、リズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【技-①】 「おもちゃのチャチャチャ」を、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、拍に合わせリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付けている。
1	拍や旋律、楽器の音色などが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴くとともに、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎おもちゃの へいたい	○「おもちゃのへいたい」を、拍や旋律、楽器の音に気を付け、体などを動かしながら聴く。 ○「おもちゃのへいたい」の、よいところ、面白いところを見つけて聴く。	【主-①】 「おもちゃのへいたい」の拍や旋律、楽器の音色などから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 「おもちゃのへいたい」の拍や旋律、楽器の音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<おとの スケッチ> ほしの おんがくをつくろう (4 時間扱い・3 月)	(1) 旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 つくった旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。		○	
	(2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。		○	
	(3) 短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、旋律づくりに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもっている。		○	
			【主-①】 短い旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

令和5年度 音楽年間指導計画（2年）

2年 p. 2～3

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌 唱	器 楽	音 楽 鑑 賞
＜導入＞ 「朝の リズム」 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「朝のリズム」の曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○		
			【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴きながら、「朝のリズム」を声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付けている。	○		
	(2) 旋律やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「朝のリズム」の旋律やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○		
	(3) 歌唱やリズム打ちに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズム打ちを伴った歌唱表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「朝のリズム」の歌唱やリズム打ちに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<スキルアップ> 手びょうしりレーで あそぼう (毎時扱い)	(1) 手拍子によるさまざまな音や表現の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 手拍子によるさまざまな音や表現の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
			【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。			○	
	(2) 強弱、タイミング、打つ回数などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	【思-①】 強弱、タイミング、打つ回数などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。			○	
	(3) 互いの音や表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、即興的な表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 互いの音や表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
強さや はやさを かんじて (6時間扱い・4～5月)	(1) 曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○		○
			互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○		
	(2) 強弱や速度、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	強弱や速度、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○		○
	(3) 強弱の変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、交互唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	強弱の変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と、強弱や速度などとの関わりに気付くとともに、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の楽しさを見いだして聴く。	◎「天国と 地ごく」から ほか	○「天国と地ごく」から と、「かめ」を、体を動かしながら、強さや速さに注意して聴く。 ○「山の魔王の宮殿にて」を、体を動かしながら、よいところ、面白いところを見つけて聴く。	【知-①】 「天国と地ごく」「かめ」の曲想と、強弱や速度など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】 「山のま王のきゅうでんにて」の強弱や速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。
1	互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	小さな はたけ	○「小さなはたけ」を、歌詞に合った強弱や歌い方で、声を揃えて歌う。	【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴いて、「小さなはたけ」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。

3	呼びかけとこたえが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、歌詞や曲想に合った表現を工夫するとともに、強弱の変化に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	山びこ ごっこ かくれんぼ（共通教材）	○「山びこごっこ」を，声の感じや強弱を工夫して歌う。	【知-②】 「山びこごっこ」の曲想と，呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや，曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【思-②】 「山びこごっこ」の呼びかけとこたえを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，歌詞や曲想に合った表現を工夫し，どのように歌うかについて思いをもっている。 【主-①】 「かくれんぼ」の強弱の変化に興味をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
---	---	--------------------------------	-----------------------------------	---

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
リズムや ドレミと なかよし (8時間扱い・6～7月)	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付くとともに、互いの歌声や音を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム遊びをしたりする技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。	○			○
			互いの歌声や音を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム遊びをしたりする技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。	○	○	○	
	(2) リズム、音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得たりする。	思考・判断・表現	リズム、音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得たりしている。			○	
	(3) リズム表現や鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、拍やリズム、階名や鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	リズム表現や鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い 時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	拍に合わせて歌ったりリズム遊びをしたりする技能を身に付けるとともに、リズムが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	◎どうぶつの歌 こいぬのビンゴ <どうぶつラップで あそぼう>	○「こいぬのビンゴ」を歌ったり、合わせてリズム打ちをしたりする。 ○「どうぶつの歌」の各曲を、動物の鳴き声や言葉のリズムに注意して聴く。 ○拍にのって「どうぶつラップで あそぼう」の活動をする。	【主-①】 「こいぬのビンゴ」のリズム表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 各曲の曲想と、言葉のリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】 「どうぶつラップ」のリズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。
3	曲想とリズムや歌詞との関わりに気付くとともに、リズムや音色が生み出すよさや面白さ	ぴよんぴよこ ロックンロール <ことばの リズムで あそぼう>	○「全音符」「2分音符」「4分音符」「8分音符」について理解して、「ぴよんぴよこ ロックンロール」を歌う。	【知-②】 「ぴよんぴよこロックンロール」の曲想と、リズムなど音楽の構造との関わりや、曲

	を感じ取りながら、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得る。		○声で、言葉のリズムのまねっこあそびをする。 ○体から出る音で、言葉のリズムのまねっこあそびやリレーをする。	想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。 【技-①】 互いの音を聴き、拍に合わせてリズム遊びをする技能や、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けている。 【思-②】 リズムや音色を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。
2	鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しむとともに、階名で模唱する技能や、リズム譜などを見て、拍に合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	＜楽きで ドレミと なかよく なろう＞ かえるの がっしょう	○鍵盤ハーモニカで音階の練習をする。 ○「かえるのがっしょう」を、輪唱したり輪奏したりする。	【主-②】 鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【技-②】 「かえるのがっしょう」を階名で模唱したり、互いの歌声や音を聴き、拍に合わせて歌ったり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜音の スケッチ＞ 音の かさなりや リズム を えらんで 合わせよう (3 時間・7 月)	(1) 音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
			【技-①】 音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) 和音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 和音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。			○	
	(3) 鍵盤楽器で音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、和音の響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 鍵盤楽器で音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	指くぐり音楽	鑑賞
＜めざせ 楽き名人＞ 「かっこう」 「ドレミの トンネル」 (毎時・9月～)	(1) 楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、範奏や伴奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。		○		
	(2) 旋律、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、範奏や伴奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けている。		○		
	(3) 鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 「かっこう」の旋律、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
			【主-①】 鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
きよくに 合った 歌い方 (4時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律や伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○			○
	(3) 曲想や歌詞を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌唱表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想や歌詞を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材(◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と、旋律や歌詞との関わりに気付くとともに、曲想や歌詞を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	ジェットコースター	○「ジェットコースター」を、曲想を感じ取って歌う。 ○「ジェットコースター」をふさわしい歌声を工夫して歌う。	【主-①】 「ジェットコースター」の曲想や歌詞を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「ジェットコースター」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。
2	自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けるとともに、旋律が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想に合った歌い方を工夫したり、演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。	虫のこえ (共通教材) ◎むしの声 (参考曲)	○「虫のこえ」を、歌詞の表現を工夫し、歌声や発音に気を付けて歌う。 ○長唄「むしの声」を、旋律や声の出し方などに注意して聴く。	【技-①】 「虫のこえ」を、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。 【思-①】 旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜音の スケッチ＞ どんな 音が きこえるかな (2 時間・9～10 月)	(1) 身の回りのいろいろな音の特徴に、それらの生み出す面白さなどに関わらせて気付く。	知識	【知-①】 身の回りのいろいろな音の特徴に、それらの生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
	(2) 音の高さや長さなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴く。	思考・判断・表現	【思-①】 音の高さや長さなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴いている。			○	
	(3) 身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、環境音に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 身の回りの音を探したり聴いたりすることに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
いい音見つけて (4時間扱い・10～11月)	(1) 曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付いている。			○
			音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付けている。	○		
	(2) 楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った楽器の音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもったりする。	思考・判断・表現	楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った楽器の音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもったりしている。	○		○
	(3) 楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、打楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と音色などとの関わりに気付くとともに、楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎ゆかいな時計	○「ゆかいな時計」を、ウッドブロックの音色やリズムに気を付けて聴く。 ○「ゆかいな時計」を、体を動かしながら聴いたり、よいところ、面白いところを見つけて聴いたりする。	【知-①】 「ゆかいな時計」の曲想と、音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】 楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いている。

2	楽器の音色やリズムの面白さを感じ取りながら、歌詞に合った楽器の音色を工夫するとともに、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付ける。	森の たんけんたい	○「森のたんけんたい」を、曲想を感じ取って歌ったり、歌詞に合う楽器の音を考えたりする。 ○「森のたんけんたい」を、歌詞に合う楽器の音を工夫して、歌に合わせて演奏する。	【思-②】 楽器の音色やリズムを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞に合った楽器の音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもっている。 【主-①】 「森のたんけんたい」の楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【技-①】 音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付けている。
---	--	------------------	--	--

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌 唱	器 楽	づ 音 楽 り	鑑 賞
<にっぽんのうた みんなのうた> 「タやけ こやけ」 (共通教材) (2 時間扱い・11 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「タやけこやけ」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			【技-①】 自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「タやけこやけ」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「タやけこやけ」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<めざせ 楽き名人> 「こぎつね」 (毎時扱い)	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、手の移動などの奏法や、階名で模唱したり範奏を聴いて演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「こぎつね」の曲想と、フレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。		○		
	(2) 旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 手の移動などの奏法や、階名で模唱したり範奏を聴いて演奏したりする技能を身に付けている。		○		
	(3) 曲想にふさわしい演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器やドイツ民謡に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 「こぎつね」の旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
			【主-①】 「こぎつね」の曲想にふさわしい演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌 唱	器 楽	音 楽 づ く り	鑑 賞
おまつりの 音楽 (3 時間扱い・12 月)	(1) 曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 太鼓の音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだして聴く。	思考・判断・表現	太鼓の音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。				○
	(3) 太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたや太鼓に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
1	曲想と歌詞との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	村まつり	○「村まつり」の曲想を感じ取り、歌い方を工夫する。	【知-①】 「村まつり」の曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴いて、「村まつり」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。
2	太鼓の音やリズムが生み出すよさを感じ取りながら、演奏の楽しさを見いだして聴くとともに、太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎日本の たいこ	○「日本のたいこ」4 種類を聴き、気付いたことや感じたことを話し合う。	【思-①】 太鼓の音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだして聴いている。 【主-①】 太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜音の スケッチ＞ おまつりの 音楽を つくろう (3 時間・12 月)	(1) 太鼓のリズムやつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 太鼓のリズムやつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
	(2) リズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりする。	思考・判断・表現	【技-①】 音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(3) 太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、和太鼓による音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 自分や友達がつくったリズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりしている。			○	
			【主-①】 太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
きょくの ながれ (2 時間扱い・1 月)	(1) 曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 楽器の音や旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音や旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の音や旋律の反復・変化などをもとに、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音や旋律の反復・変化などをもとに、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と音色などとの関わりに気付くとともに、楽器の音や旋律の反復・変化が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎そりすべり	○「そりすべり」を、聞こえてくる音に気を付けて聴く。 ○「そりすべり」の旋律を聴き取り、体を動かしながら聴く。 ○「そりすべり」のよいところ、面白いところを見つけて聴く。	【知-①】 「そりすべり」の曲想と、音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】 「そりすべり」の楽器の音や旋律の反復・変化などをもとに、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 「そりすべり」の楽器の音や旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌 唱	器 楽	音 楽 づ く り	鑑 賞
くりかえしと かさなり (3 時間扱い・1～2 月)	(1) 曲想と反復や速度など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付くとともに、互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と反復や速度など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。	○			
			互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 楽器の音や、旋律や音型の反復と重なり、速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	楽器の音や、旋律や音型の反復と重なり、速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○	○		○
	(3) 反復や重なり、速度の変化を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	反復や重なり、速度の変化を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	楽器の音や、旋律や音型の反復と重なり、速度の変化が生み出すよさや面白さ、曲想を感じ取って表現を工夫したり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	汽車は 走る ◎しゅっぱつ	○「汽車は走る」の主旋律を歌詞唱したり、副次的旋律を加えて歌ったりする。 ○「汽車は走る」を、楽器を合わせて演奏する。 ○「しゅっぱつ」を、楽器の音や、旋律や速度の変化に注意して聴く。 ○「汽車は走る」を演奏しながら、汽車の様子を表す。	【知-①】 「汽車は走る」の曲想と、反復や速度など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。 【技-①】 「汽車は走る」を、互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 【思-①】 「しゅっぱつ」の楽器の音や、旋律や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。 【主-①】 「汽車は走る」の反復や重なり、速度の変化を生かした表現に興味をもち、音楽活動を

				楽しみながら，主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-②】 「汽車は走る」の楽器の音や，旋律や音型の反復と重なり，速度の変化を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲想を感じ取って表現を工夫し，どのように演奏するかについて思いをもっている。
--	--	--	--	---

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
みんなで 合わせて (4時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの歌声や音、伴奏を聴いて、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○		
			互いの歌声や音、伴奏を聴いて、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○	○	○
	(2) 拍やその流れ、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	拍やその流れ、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○	○	○
	(3) 友達と歌声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、パートナーソングや合唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	友達と歌声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材(◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と拍や旋律などや、歌詞との関わりに気付くとともに、友達と歌声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	ウンパッパ ◎ティニックリング	○「ウンパッパ」を、拍やその流れにのって歌詞唱する。 ○「ティニックリング」の音楽に合わせて、膝打ちや手拍子などで3拍子のリズムを打ったり、「ウンパッパ」を、旋律を重ねて歌詞唱する。	【知-①】 「ウンパッパ」の曲想と、拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【主-①】 友達と歌声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
2	声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付けるとともに、拍やその流れ、リズムが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想に合った表現を工夫したり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。	チャチャ マンボ ◎マンボ ナンバー ファイブ	○リズムにのって「マンボ ナンバー ファイブ」を聴いたり、「チャチャ マンボ」を歌詞唱したりする。 ○「チャチャ マンボ」の合奏をする。	【思-①】 「チャチャマンボ」や「マンボナンバーファイブ」の拍やその流れ、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。 【技-①】 互いの歌声や音、伴奏を聴いて、声や音を合

				わせて「チャチャマンボ」を歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。
--	--	--	--	-------------------------------------

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌 唱	器 楽	づ 音 楽 り	鑑 賞
くにっぽんのうた みんなのうた> 「春がきた」 (共通教材) (1 時間扱い・3 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能や、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「春がきた」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			【技-①】 「春がきた」を自分の歌声及び発音に気を付けて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「春がきた」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「春がきた」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<音の スケッチ> みんなの 音楽時計を つくろう (4時間扱い・3月)	(1) 音型の反復や重なりについて、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 時計を表す音型の反復や重なりについて、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。			○
	(2) 拍やリズムの反復、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	【技-①】 音型の反復や重なりなど、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。			○
	(3) 音型を組み合わせで音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、時計を表す音楽づくりに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 拍やリズムの反復、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして「ウィーンの音楽時計」を聴いたりする。			○
			【主-①】 音型を組み合わせで音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
クリスマスソングを歌おう (1時間扱い・随時)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。				○
			【技-①】 互いの声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 歌詞や旋律の特徴を聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	【思-①】 歌詞や旋律の特徴を聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。				○
	(3) 歌詞が表す情景や、歌詞と旋律との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、季節や行事に関わる歌に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 歌詞が表す情景や、歌詞と旋律との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

令和5年度 音楽年間指導計画（3年）

3年 p.2～3

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌 唱	器 楽	音 楽 鑑 賞
＜導入＞ 「小さな世界」 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「小さな世界」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○		
			【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴いて、「小さな世界」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○		
	(2) 旋律の流れやその変化、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「小さな世界」の旋律の流れやその変化、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○		
	(3) 歌詞の持つメッセージを歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、パートナーソングに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「小さな世界」の歌詞の持つメッセージを、歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌 唱	器 楽	づ く り 音 楽	鑑 賞
＜スキルアップ＞ 「ア ラム サム サム」 (毎時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「ア ラム サム サム」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			【技-①】 呼吸及び発音の仕方に気を付けて「ア ラム サム サム」を歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「ア ラム サム サム」の旋律の重なりを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「ア ラム サム サム」を声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌 唱	器 楽	づ く り 音 楽	鑑 賞
＜スキルアップ＞ ＜リズムなかま＞で 楽しもう！ (毎時扱い)	(1) リズムの重なりの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせながら気付くとともに、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 リズムの重なりの特徴について、その生み出すよさや面白さなどに関わらせながら気付いている。			○	
			【技-①】 音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) リズムの重なりを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考える。	思考・判断・表現	【思-①】 リズムの重なりを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考えている。			○	
	(3) リズム遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 リズム遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
くにっぼんのうた みんなのうた> 「春の小川」(共通教材) (2時間扱い・4月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「春の小川」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			【技-①】 呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で「春の小川」を歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れやそのまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「春の小川」の旋律の流れやそのまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「春の小川」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
楽ふとドレミ (4時間扱い・4～5月)	(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音の重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音の重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) ハ長調の視唱視奏や輪唱輪奏による旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、階名唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	ハ長調の視唱視奏や輪唱輪奏による旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けるとともに、ハ長調の視唱視奏や輪唱輪奏による旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	キラキラおひさま	○<楽ふのお話>のページで、音符や記号、五線などについて知り、「キラキラおひさま」を階名唱する。 ○「キラキラおひさま」を輪唱・輪奏する。	【技-①】 範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして「キラキラおひさま」を歌う技能を身に付けている。 【主-①】 ハ長調の視唱視奏や輪唱輪奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
2	曲想と音階や歌詞との関わりに気付くとともに、旋律や音の重なり、音階が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	ドレミの歌	○「ドレミの歌」の主旋律を歌詞唱する。 ○「ドレミの歌」を二部合唱する。	【知-①】 「ドレミの歌」の曲想と、音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【思-②】 「ドレミの歌」の旋律や音の重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<にっぽんのうた みんなのうた> 「茶つみ」(共通教材) (2時間扱い・5月)	(1) 旋律のもつリズムの反復や、休符の効果、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「茶つみ」の旋律のもつリズムの反復や、休符の効果、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○	○		
	(2) 旋律のもつリズムの反復を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴いて、「茶つみ」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。 ○	○		
	(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 「茶つみ」の旋律のもつリズムの反復を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ○	○		
			【主-①】 「茶つみ」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ○	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<こんにちは リコーダー> (2時間＋毎時・5～6月)	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 リコーダーの音色と「シシシでおはなし」の演奏の仕方との関わりに気付いている。		○	
	(2) リコーダーの音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、リコーダーの演奏のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	【技-①】 音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴き音を合わせて「ゆかいなまきば」を演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。		○	○
	(3) リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 リコーダーの音色、各曲の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、リコーダーの演奏のよさを見いだして聴いている。 【思-②】 リコーダーの音色、「にじ色の風船」の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○	○

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
歌声ひびかせて (2時間扱い・7月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○		○
			呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付けている。	○		
	(2) 旋律のもつリズムや流れ、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律のもつリズムや流れ、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○		
	(3) 旋律の特徴を生かした表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌声や合唱の響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	旋律の特徴を生かした表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い 時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けるとともに、旋律のもつリズムや流れ、歌声が生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	この山光る ◎ホルディリディア	○「この山光る」を、ふさわしい歌声を探して歌詞唱する。 ○「ホルディリディア」を、高音を歌う声に注目して聴く。 ○「この山光る」の旋律の特徴について考え、生かして歌う。	【知-①】 「この山光る」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【主-①】 旋律の特徴を生かした歌唱表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 「この山光る」の旋律のもつリズムや流れ、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 呼吸及び発音の仕方に気を付け、「この山光る」を自然で無理のない歌い方で歌う技能、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付けている。

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜音のスケッチ＞ いろいろな声で 表げんして遊ぼう (3時間扱い・7月)	(1) いろいろな声の出し方、つなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に声の出し方を選択したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けたりする。	知識・技能	【知-①】 いろいろな声の出し方、つなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
	(2) 声の音色や高さ、強弱、長さなどを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。	思考・判断・表現	【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に声の出し方を選択したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けたりしている。			○	
	(3) いろいろな声の出し方を試し、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、声による音楽づくりに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 いろいろな声の出し方を試し、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
くにつぼんのうた みんなのうた＜ 「うさぎ」(共通教材) (1時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「うさぎ」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			【技-①】 呼吸や発音の仕方に気を付けて、「うさぎ」を自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「うさぎ」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	音 楽 づ く り	鑑賞
<めざせ 楽き名人> 「かえり道」 「レッツゴー ソーレー」 (毎時扱い・9月～)	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わり気付くとともに、互いの音や伴奏を聴きながら演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 リコーダーの音色と「かえり道」の演奏の仕方との関わりに気付く。	○		
			【技-①】 互いの音を聴きながら演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。 【技-②】 互いの音や伴奏を聴きながら「レッツゴー ソーレー」を演奏する技能を身に付ける。	○		
	(2) 音色や旋律、伴奏の速度やリズム、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たりする。	思考・判断・表現	【思-①】 音色や「レッツゴー ソーレー」の旋律、伴奏の速度やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○		
	(3) リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーや二重奏・二部合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
せんりつの流れとへん化 (3時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 楽器の音色、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音色、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、バイオリンやチェロの演奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い めやす 時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と、旋律や音色との関わりに気付くとともに、楽器の音色、旋律の反復と変化が生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎ユモレスク ◎白鳥	○「ユモレスク」の旋律の変化や再現に気を付けて、体を動かしながら聴く。 ○「ユモレスク」の曲全体を味わって聴く。 ○「白鳥」を全曲通して体を動かしながら聴く。 ○「白鳥」の曲全体を味わって聴く。	【主-①】 バイオリンの音色、「ユモレスク」の旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 バイオリンの音色、「ユモレスク」の旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【知-①】 「白鳥」の曲想と旋律やチェロの音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-②】 チェロの音色、「白鳥」の旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌 唱	器 楽	音 楽 づ く り	鑑 賞
遊び歌めぐり (4 時間扱い・10 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、拍に合わせて歌ったり手合わせしたりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			拍に合わせて歌ったり手合わせしたりする技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律やリズム、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律やリズム、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。	○			○
	(3) 日本や諸外国の歌や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な遊び歌に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	日本や諸外国の歌や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い めやす 時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	拍に合わせて歌ったり手合わせしたりする技能を身に付けるとともに、旋律やリズム、拍やその流れ、速度が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲のよさを見いだして聴く。	◎日本や世界の子どもの歌 十五夜さんのもちつき 陽気なかじや	○「十五夜さんのもちつき」と「キパーキ・パパー」を聴き、「十五夜さんのもちつき」を手合わせして遊ぶ。 ○「あつい豆がゆ」「半月」「陽気なかじや」を聴き、それぞれの違いを感じ取る。 ○「陽気なかじや」を手合わせして遊ぶ。 ○「日本や世界の子どもの歌」を聴き、それぞれの曲の共通点や違いを感じ取る。	【知-①】 「十五夜さんのもちつき」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】 日本や諸外国の歌や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【技-①】 拍に合わせて「陽気なかじや」を歌ったり手合わせしたりする技能を身に付けている。 【思-①】 「陽気なかじや」や他の曲の旋律やリズム、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌 唱	器 楽	づ 音 楽 り	鑑 賞
くにっぽんのうた みんなのうた＜ 「ふじ山」(共通教材) (2 時間扱い・10～11 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「ふじ山」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○		
	(2) 旋律のもつリズムや流れを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、「ふじ山」を自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○		
	(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 「ふじ山」の旋律のもつリズムや流れを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○		
			【主-①】 「ふじ山」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
曲に合った歌い方 (4 時間扱い・11～12 月)	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	(2) フレーズの反復や変化、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	フレーズの反復や変化、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、5 音をもとにした旋律や輪唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想とフレーズや歌詞との関わりに気付くとともに、声を合わせて歌う技能や、互いの音を聴きながら楽器を演奏する技能を身に付ける。	森の子もり歌	○「森の子もり歌」の曲想を感じ取り、旋律の特徴を捉え、歌詞の表わす情景を思い浮かべて歌う。 ○「森の子もり歌」を合唱奏する。	【知-①】 「森の子もり歌」の曲想と、フレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴いて、「森の子もり歌」を声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付けている。
2	フレーズの反復や変化、音の重なりが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫するとともに、曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	雪のおどり	○「雪のおどり」を、言葉の響きや反復の面白さを感じながら輪唱する。 ○「雪のおどり」を伴奏と合わせて輪唱する。	【思-①】 「雪のおどり」のフレーズの反復や変化、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【主-①】 「雪のおどり」の曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。

＜コーナー名＞ （扱い時数・扱い月のめやす）	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	づくり音楽	鑑賞
＜音のスケッチ＞ チャチャチャのリズムで遊ぼう （3 時間・12 月）	(1) ラテンのリズムの特徴や、その反復・重なりについて、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いてリズムアンサンブルをつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 ラテンのリズムの特徴や、その反復・重なりについて、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
			【技-①】 音楽の仕組みを用いてリズムアンサンブルをつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) リズムの反復や重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 リズムの反復や重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
	(3) ラテンのリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ラテン音楽やリズムアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 ラテンのリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
アンサンブルの楽しさ (3時間扱い・1月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わり気付くとともに、互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わり気付いている。	○		
			互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○	
	(2) 旋律やその関わり合い、リズム、楽器の音色や全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、演奏のよさや面白さを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律やその関わり合い、リズム、楽器の音色や全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、演奏のよさや面白さを見いだして聴いたりしている。	○	○	○
	(3) 曲想や各声部の役割を捉えた表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、アメリカ民謡や合唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想や各声部の役割を捉えた表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	曲想と声部の役割との関わり に気付くとともに、音を合わせて 演奏する技能を身に付ける。	せいじゃの行進 ◎せいじゃの行進	○鑑賞曲「せいじゃの行進」を体を動かしながら、楽器の音やリズムに注意して聴く。 ○「せいじゃの行進」の主旋律と副旋律のパートを楽器で演奏する。 ○「せいじゃの行進」を、パートの関わり合いや役割に気付いて合奏する。	【思-①】 鑑賞曲「せいじゃの行進」の旋律やその関わり合い、リズム、楽器の音色や全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさや面白さを見いだして聴いている。 【技-①】 互いの楽器の音を聴き、「せいじゃの行進」を音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【知-①】 「せいじゃの行進」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わり気付いている。 【主-①】 「せいじゃの行進」の曲想や各声部の役割を捉えた表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<めざせ 楽き名人> 「あくびの歌」 「冬さん、さようなら」 (毎時扱い)	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 リコーダーの音色と「かえり道」の演奏の仕方との関わりに気付いている。		○	
	(2) リコーダーの音色、旋律の流れ、かけ合いや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 音色や響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○	
	(3) リコーダーの響きや声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーや二重奏・二部合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 リコーダーの音色、「冬さん、さようなら」の旋律の流れ、かけ合いや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○	
			【主-①】 リコーダーの響きや声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
ききどころを見つけて (3時間扱い・2月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化などが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎組曲「アルルの女」から	○「アルルの女」から「メヌエット」を、楽器の音色や関わり合い、旋律の変化に気付いて聴く。 ○「メヌエット」のよいところを捉えて聴く。 ○「ファランドール」のよいところを捉え、曲全体を味わって聴く。	【主-①】 「メヌエット」に登場する楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「メヌエット」の曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】 楽器の音色、「ファランドール」の旋律の特徴や反復と変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
みんなで合わせて (3時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 旋律やリズム、楽器の音の響きや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律やリズム、楽器の音の響きや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		
	(3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌の表す物語や合唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	旋律やリズム、楽器の音の響きや重なりが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かしながら音楽活動を楽しむ。	パフ	○「パフ」を情景や気持ちを想像しながら歌詞唱する。 ○グループに分かれ、担当するパートを決めて練習する。 ○グループごとに発表し、聴き合う。 ○グループごとにリレー演奏する。	【知-①】 「パフ」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて「パフ」を演奏する技能を身に付けている。 【思-①】 「パフ」の旋律やリズム、楽器の音の響きや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【主-①】 音を合わせて「パフ」を演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌 唱	器 楽	づ 音 楽 り	鑑 賞
<音のスケッチ> 音のひびきや 組み合わせを楽しもう (2 時間扱い・3 月)	(1) いろいろな打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 いろいろな打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
			【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。			○	
	(2) 打楽器の音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	【思-①】 打楽器の音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。			○	
	(3) 打楽器の音の響きや組み合わせを楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組み、いろいろな打楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 打楽器の音の響きや組み合わせを楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組もうとしている。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈物語の音楽を楽しもう〉 「ピーターとおおかみ」 (2 時間扱い・随時)	(1) 曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	【知-①】 各キャラクターのテーマの曲想と、音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 楽器の音色、旋律の特徴、強弱や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	【思-①】 各楽器の音色、「ピーターとおおかみ」の各旋律の特徴、強弱や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 各キャラクターの表現や、物語の音楽を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、物語の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 各キャラクターの表現や、物語の音楽を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

令和5年度 音楽年間指導計画（4年）

4年 p.4～5

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌 唱	器 楽	音 楽 鑑 賞
＜導入＞ 「TODAY」 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律のもつリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「TODAY」の曲想と、旋律のもつリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○		
			【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○		
	(2) 旋律や、旋律のもつリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「TODAY」の旋律や、旋律のもつリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○		
	(3) 曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌唱表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「TODAY」の曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜スキルアップ＞ 「早口」 (毎時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない声で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「早口」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			【技-①】 呼吸及び発音の仕方に気を付けて「早口」を歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律やリズム、音の重なりを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「早口」の旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 言葉の面白さを生かした歌唱に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 言葉の面白さを生かした歌唱に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜スキルアップ＞ 早口言葉でラップを 楽しもう！ (毎時扱い)	(1) リズムフレーズのつなげ方や重ね方について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 リズムフレーズのつなげ方や重ね方について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
			【技-①】 音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) リズムや音の重なりを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 リズムや音の重なりを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
	(3) 言葉のリズムの面白さを生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ボイスアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 言葉のリズムの面白さを生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌 唱	器 楽	づ 音 楽 り	鑑 賞
くにっぼんのうた みんなのうた> 「さくら さくら」 (共通教材) ◎さくら変そう曲 (2 時間扱い・4 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「さくら さくら」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			【技-①】 呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で「さくら さくら」を歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の反復や変化、もととなる音階、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、箏の音楽のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	【思-①】 「さくら さくら」の旋律の反復や変化、もととなる音階、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、箏の音楽のよさを見いだして聴いている。				○
	(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「さくら さくら」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
歌声ひびかせて (4時間扱い・4～5月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○		
			互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○		
	(2) 歌声や旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴く。	思考・判断・表現	歌声や旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴いている。			○
	(3) いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、ミュージカルの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と旋律や歌詞の内容との関わりに気付くとともに、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	プパポ	○「プパポ」の主旋律（上声部）を、フレーズのまとまりを捉えて、歌い方を工夫しながら歌詞唱する。 ○パートの関わり合い方を意識して二部合唱する。	【知-①】 「プパポ」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【技-①】 互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて「プパポ」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。
2	歌声の響きや旋律が生み出すよさや面白さを感じ取りながらミュージカルの音楽を聴く。	◎ミュージカル「サウンド オブ ミュージック」から	○ミュージカル「サウンド オブ ミュージック」について知り、各曲を歌声や旋律に注意して聴く。	【思-①】 歌声や旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴いている。 【主-①】 いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
ひょうしと せんりつ (6時間扱い・6～7月)	(1) 曲想と拍やその流れなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、音を合わせて楽器を演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と拍やその流れなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○		○
			互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、音を合わせて楽器を演奏したりする技能を身に付けている。	○	○	
	(2) 拍やその流れ、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	拍やその流れ、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。	○		○
	(3) 拍子とその違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、いろいろな拍子に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	拍子とその違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	声を合わせて歌ったり、音を合わせて楽器を演奏したりする技能を身に付けるとともに、拍やその流れ、旋律が生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	エーデルワイス	○「エーデルワイス」の主旋律を、拍子を感じ、旋律のまとまりを捉えて歌う。 ○「エーデルワイス」を歌と楽器で合わせて演奏する。	【思-①】 「エーデルワイス」の拍やその流れ、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 互いの歌声や音、伴奏を聴いて「エーデルワイス」を声や音を合わせて歌ったり、楽器で演奏したりする技能を身に付けている。

4	曲想と拍やその流れとの関わりに気付くとともに、いろいろな拍子の音楽に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎トルコ行進曲 メリーさんの羊 ラバーズ コンチェルト ◎メヌエット	○「トルコ行進曲」を、指揮の動きをするなどして2拍子を感じながら聴く。 ○「メリーさんの羊」を、友達の指揮を見て歌ったり演奏したりする。 ○「ラバーズ コンチェルト」と「メヌエット」を、指揮の動きをしながら歌詞唱したり聴いたりする。 ○「ラバーズ コンチェルト」と「メヌエット」を比べる。	【思-②】 「トルコ行進曲」の拍やその流れ、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだして聴いている。 【知-①】 「メリーさんの羊」の曲想と、拍やその流れ、速度など音楽の構造との関わりに気付いている。 【知-②】 「ラバーズ コンチェルト」「メヌエット」の曲想と、拍やその流れなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】 いろいろな拍子の音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
---	--	---	---	--

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜音のスケッチ＞ 音の動き方を生かして せんりつをつくろう (2時間・7月)	(1) 音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
	(2) 音の動き方やフレーズのつなげ方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(3) 音の動きの生み出すフレーズの特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、5音をもとにした音楽づくりに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 音の動きの生み出すフレーズの特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌 唱	器 楽	づ 音 楽 り	鑑 賞
<にっぽんのうた みんなのうた> 「まきばの朝」 (共通教材) (1 時間扱い・7 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「まきばの朝」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴き、「まきばの朝」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「まきばの朝」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「まきばの朝」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<めざせ 楽器名人> 「ハロー サミング」 「もののけ姫」から (毎時・9月～)	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、音色や響きに気を付けて、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能及びサミングの技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。	○		
	(2) 旋律や旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 サミングの技能を身に付けている。 【技-②】 音色や響きに気を付けて、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて「もののけ姫」から を演奏する技能を身に付けている。	○		
	(3) 高音の響きやリコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーや二重奏・二部合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 「もののけ姫」からの旋律や旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【主-①】 高音の響きやリコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
曲に合った歌い方 (4時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れや変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律の流れや変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 曲想を生かした歌唱表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を生かした歌唱表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	旋律の流れや変化が生み出すよさを感じ取りながら表現を工夫するとともに、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	ゆかいに歩けば	○「ゆかいに歩けば」の主旋律の特徴に合う歌い方を考えて歌う。 ○「ゆかいに歩けば」を二部合唱する。	【思-①】 「ゆかいに歩けば」の旋律の流れや変化を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴いて、「ゆかいに歩けば」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。
2	曲想と旋律や歌詞との関わりに気付くとともに、曲想を生かした歌唱表現に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	とんび	○「とんび」の旋律の流れや歌詞に合う歌い方を考える。 ○「とんび」の旋律を、ふさわしい歌い方で歌詞唱する。	【知-①】 「とんび」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【主-①】 「とんび」の曲想を生かした歌唱表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌 唱	器 楽	音 楽 づ く り	鑑 賞
かけ合いと重なり (3 時間扱い・10 月)	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わり に気付く。	知識	曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わり に気付いている。				○
	(2) 楽器の音やかかけ合いと重なり、旋律の反復と変化を 聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りなが ら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについ て考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判 断・表現	楽器の音やかかけ合いと重なり、旋律の反復と変化を 聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取り ながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わ りについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味 わって聴いている。				○
	(3) 楽器による呼びかけ合いや音の重なり、楽器の響き を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、 オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学 習に取り組 む態度	楽器による呼びかけ合いや音の重なり、楽器の響き を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り 組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	曲想と音楽の構造との関わり に気付くとともに、楽器の音 やかかけ合いと重なり、旋律の 反復と変化が生み出すよさや 美しさを感じ取りながら、曲 全体を味わって聴く。	◎アラ ホーンパイプ	○「アラ ホーンパイプ」の【主な旋律を中心と する部分>を聴き、特徴に気付く。 ○「アラ ホーンパイプ」を全曲通して聴き、形 式に気付く。 ○「アラ ホーンパイプ」を全曲通して聴き、よ さや面白さを味わう。	【主-①】 楽器による呼びかけ合いや音の重なり、 楽器の響きを楽しみながら、主体的・協働 的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「アラ ホーンパイプ」の曲想と、 呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わり に気付いている。 【思-①】 「アラ ホーンパイプ」を演奏する楽 器の音やかかけ合いと重なり、旋律の反復と変化 を聴き取り、それらの働きのよさや美しさ を感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、 曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴 いている。

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
くにっぼんのうた みんなのうた＜ 「もみじ」(共通教材) (2 時間扱い・10～11 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「もみじ」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○	○	○	○
	(2) 旋律や旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、「もみじ」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。 ○	○	○	○
	(3) 歌詞や曲想、声部の役割を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたや合唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 「もみじ」の旋律や旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ○	○	○	○
			【主-①】 「もみじ」の歌詞や曲想、声部の役割を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ○	○	○	○

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
音楽今昔 (6時間扱い・11～12月)	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。	○		○	
	(2) 旋律や歌い方、楽器の音色、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するか、まとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、音楽のよさを見だし、味わって聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律や歌い方、楽器の音色、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するか、まとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、音楽のよさを見だし、味わって聴いたりしている。	○	○		
	(3) 我が国や諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中から生まれた多様な音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	我が国や諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
1	旋律や歌い方が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	ソーラン節 ◎ソーラン節	○「ソーラン節」を、声や歌い方を工夫しながら音頭一同形式で歌う。	【思-①】 「ソーラン節」の旋律や歌い方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
2+ α	曲想と旋律やリズムなどとの関わりに気付くとともに、音楽の仕組みを用いて自分たちの	◎秩父屋台ばやし ◎葛西ばやし ☆おはやしづくりにチャレンジ	○「秩父屋台ばやし」を聴き、お囃子のリズムや楽器の音色に親しんだり、自分たちでお囃子をつくったりする。	【知-①】 お囃子の曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【技-①】 音楽の仕組みを用いてお囃子の音楽

	お囃子をつくる技能を身に付ける。	ジ (日本のお祭りをたずねて)	○自分たちの地域にあるお祭りの音楽や、知っているお囃子などについて話し合ったり聴いたりする。	をつくる技能を身に付けている。 【主-①】 我が国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
3	諸外国に伝わる様々な音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎サムルノリ ◎サンバの音楽 朝の歌 おどれサンバ	○「朝の歌」を、遠くに呼びかけるような声で歌う。 ○「サムルノリ」や「サンバの音楽」を聴き、リズムや楽器の音色の特徴を感じ取る。 ○「おどれサンバ」を楽器のリズムで伴奏して歌い合わせる。	【技-②】 呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で「朝の歌」を歌う技能を身に付けている。 【主-②】 諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-②】 「おどれサンバ」の旋律や楽器の音色、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもっている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<音のスケッチ> 音階をもとにして 音楽をつくろう (2時間扱い・12月)	(1) いろいろな音階の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選択して表現する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 いろいろな音階の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。		○	
	(2) 旋律や旋律のもととなる音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。	思考・判断・表現	【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択して表現する技能を身に付けている。		○	
	(3) 日本に伝わる音楽の音階をもとにした旋律づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の旋律に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 旋律や旋律のもととなる音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。		○	
			【主-①】 日本に伝わる音楽の音階をもとにした旋律づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
アンサンブルの楽しさ (3時間扱い・1月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。	○		
			音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○		
	(2) フレーズの呼びかけ合いや音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	フレーズの呼びかけ合いや音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○	
	(3) 曲想や各声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、タンゴの音楽や合唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想や各声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	音色に気を付け、音を合わせて演奏する技能を身に付けるとともに、フレーズの呼びかけ合いや音の重なりを聴き取り、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	ラ クンパルシータ	○主旋律が続くように、鍵盤ハーモニカの1・2パートを合わせて演奏する。 ○担当するパートを決めて練習する。 ○全員やグループ全員で合奏する。	【技-①】 音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて「ラ クンパルシータ」の主旋律を演奏する技能を身に付けている。 【知-①】 「ラ クンパルシータ」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】 「ラ クンパルシータ」の曲想や各声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 「ラ クンパルシータ」のフレーズの呼びかけ合いや音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
ききどころを見つけて (3時間扱い・2月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 楽器の音色，旋律の特徴や反復と変化，強弱や速度の変化を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲のよさを見だし，曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音色，旋律の特徴や反復と変化，強弱や速度の変化を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲のよさを見だし，曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の音色，旋律の特徴や反復と変化に興味をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に学習活動に取り組み，オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色，旋律の特徴や反復と変化に興味をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材（◎鑑賞教材 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	曲想と旋律などとの関わりに気付くとともに，楽器の音色，旋律の特徴や反復と変化，強弱や速度の変化が生み出すよさや美しさを感じ取りながら，曲全体を味わって聴く。	◎ノルウェー舞曲 第2番	○「ノルウェー舞曲 第2番」を，曲全体の曲想や構成を捉えて聴く。 ○「始め」「中」「終わり」の特徴の変化に気を付けて聴く。 ○曲全体の特徴や演奏のよさを味わって聴く。	【主-①】 「ノルウェー舞曲第2番」を演奏する楽器の音色，旋律の特徴や反復と変化に興味をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「ノルウェー舞曲第2番」の曲想と，旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】 「ノルウェー舞曲第2番」を演奏する楽器の音色，旋律の特徴や反復と変化，強弱や速度の変化を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲のよさを見だし，曲全体を味わって聴いている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
わたしたちの表げん 〈選択A 器楽〉 (2時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。		○		
			互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 楽器の音色や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	楽器の音色や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	(3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、二重奏・二部合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い めやす 時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	楽器の音色や音の重なりが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	こきょうの春	○「こきょうの春」の両方の声部をリコーダーで演奏し、役割やふさわしい響きについて考える。 ○「こきょうの春」を聴き合いながら二部合奏する。 ○学校の中で流れている音楽について意見を交流する。	【知-①】 「こきょうの春」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【技-①】 互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて「こきょうの春」を演奏する技能を身に付けている。 【思-①】 楽器の音色や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、「こきょうの春」の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準	歌 唱	器 楽	音 楽 づ くり	鑑 賞
わたしたちの表げん 〈選択 B 歌唱〉 (2 時間扱い・2～3 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○		
			互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○		
	(2) 歌声や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	歌声や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○		
	(3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	歌声やその重なりが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫するとともに、1 年間の学習を生かし、音楽活動を楽しむ。	グッデー グッバイ	○「グッデーグッバイ」の両方の声部を歌い、役割やふさわしい歌い方について考える。 ○「グッデーグッバイ」を聴き合いながら二部合唱する。 ○学校の中で流れている音楽について意見を交流する。	【知-①】 「グッデー グッバイ」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【主-①】 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴き、「グッデーグッバイ」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。 【思-①】 歌声や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、「グッデー グッバイ」の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌 唱	器 楽	づ 音 楽 り	鑑 賞
＜音のスケッチ＞ 役わりをもとに 音楽をつくろう (3 時間扱い・3 月)	(1) 音の動き方やフレーズのつなげ方、全体の構成や各声部の役割について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選択する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 音の動き方やフレーズのつなげ方、全体の構成や各声部の役割について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付いている。 【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選択する技能を身に付けている。			○	
	(2) フレーズの呼びかけ合いや合いの手、支えとなる音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫する。	思考・判断・表現	【思-①】 フレーズの呼びかけ合いや合いの手、支えとなる音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫している。			○	
	(3) 役割を生かした音楽づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、6 音をもとにした音楽づくりに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 役割を生かした音楽づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<いろいろな歌声を 楽しもう> 歌げき「魔笛」から (2 時間扱い・随時)	(1) 曲想と、歌声や旋律など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	【知-①】 歌劇「魔笛」の曲想と、歌声や旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 歌声や旋律、伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴く。	思考・判断・表現	【思-①】 歌劇「魔笛」の歌声や旋律、伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴いている。				○
	(3) いろいろな歌声やその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌劇の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 いろいろな歌声やその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

令和5年度 音楽年間指導計画（5年）

5年 p.4～5

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌 唱	器 楽	音 楽 鑑 賞
＜導入＞ 「夢色シンフォニー」 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「夢色シンフォニー」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解している。	○		
			【技-①】 各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「夢色シンフォニー」を歌う技能を身に付けている。	○		
	(2) 歌声、旋律の流れや変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 歌声、旋律の流れや変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、「夢色シンフォニー」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○		
	(3) 歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌唱表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「夢色シンフォニー」の歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜スキルアップ＞ 「花のおくりもの」 (毎時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「花のおくりもの」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			【技-①】 呼吸及び発音の仕方に気を付けて「花のおくりもの」を歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 歌声や旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 歌声や旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「花のおくりもの」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 全員で表現をそろえることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 全員で歌唱表現をそろえることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜スキルアップ＞ 「クラップ フレンズ」 (毎時扱い)	(1) 曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、拍に合わせ全体の響きを聴いて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「クラップ フレンズ」の曲想と、強弱など音楽の構造との関わりについて理解している。		○		
			【技-①】 拍に合わせ全体の響きを聴いて「クラップ フレンズ」を演奏する技能を身に付ける。		○		
	(2) 手拍子の強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 手拍子の強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、自分たちの演奏する「クラップ フレンズ」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	(3) 全員で表現をそろえることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、手拍子によるリズムアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 全員で表現をそろえることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
くにっぽんのうた みんなのうた＜ 「こいのぼり」 (共通教材) (2時間扱い・4月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「こいのぼり」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○	○		
	(2) 旋律のもつリズム、旋律の流れやまとまりを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「こいのぼり」を歌う技能を身に付けている。 ○	○		
	(3) 歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 「こいのぼり」の旋律のもつリズム、旋律の流れやまとまりを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ○	○		
			【主-①】 「こいのぼり」の歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ○	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
和音や低音のはたらき (4時間扱い・4～5月)	(1) 曲想と音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○	○		
			ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 和音や低音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	和音や低音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		
	(3) 和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ハ長調の主要三和音に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けるとともに、和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	茶色の小びん 和音のはたらきを感じ取ろう	○「茶色の小びん」の主旋律と低音を合わせて演奏する。 ○ハ長調の音階、和音について知り、「茶色の小びん」を和音を感じながら演奏する。	【技-①】 ハ長調の楽譜を見て「茶色の小びん」を歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。 【主-①】 和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
2	曲想と音の重なりや旋律との関わりについて理解するとともに、和音や低音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	こきょうの人々	○「こきょうの人々」を旋律と和音、旋律と低音、旋律と和音と低音、それぞれの組み合わせで演奏して比べ、気付いたことを話し合う。 ○「こきょうの人々」を、グループで演奏の工夫をする。	【知-①】 「こきょうの人々」の曲想と、音の重なりや旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-①】 和音や低音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「こきょうの人々」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
声のひびき合い (6時間扱い・6～7月)	(1) 曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			○
			各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 声の重なる響きや、旋律の特徴、旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見出して聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりする。	思考・判断・表現	声の重なる響きや、旋律の特徴、旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見出して聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりしている。	○			○
	(3) いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちなりの表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちなりの表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	いろいろな形態の合唱に興味をもつとともに、声の重なる響きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、それぞれの形態の演奏のよさを見出して聴く。	◎いろいろな合唱	○声の種類や合唱形態について知るとともに、女声合唱と男声合唱を比較して聴き、気付いたことを交流する。 ○女声、男声、児童、混声ごとに、気付いたことや魅力についてまとめる。	【主-①】 いろいろな形態の合唱を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 声の重なる響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見出して聴いている。

4	声の重なる響きや，旋律の特徴，旋律どうしの関わりを聴き取り，曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに，自分たちなりの表現に興味をもち，音楽活動を楽しむ。	ハロー・シャイニング ブルー	○「ハロー・シャイニング ブルー」の特徴を捉え，全員でイメージを共有して上声部を歌う。 ○下声部を捉え二部合唱し，声部の関わり合いや全体の響きを確認する。 ○曲の仕組みや特徴について，意見を出し合ったり確認したりして歌う。 ○「こう歌いたい」という内容を出しあって，更に工夫し，思いや意図を大切に二部合唱する。	【主-②】 自分たちなりの表現に興味をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【技-①】 各声部の歌声や伴奏，全体の響きを聴いて，自然で無理のない，響きのある歌い方で「ハロー・シャイニング ブルー」を歌う技能を身に付けている。 【思-②】 声の重なる響きや，旋律の特徴，旋律同士の関わりを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，「ハロー・シャイニング ブルー」の特徴にふさわしい表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【知-①】 「ハロー・シャイニング ブルー」の曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや，曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。
---	--	---------------------------	---	---

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌 唱	器 楽	音 楽	鑑 賞
くめざせ 楽器名人＞ 「星笛」 (毎時扱い・6～7月)	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「星笛」の曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。		○	
			【技-①】 各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて「星笛」を演奏する技能を身に付けている。		○	
	(2) リコーダーの音色やフレーズ、旋律同士の関わりを聴き取り、それらのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 リコーダーの音色やフレーズ、旋律同士の関わりを聴き取り、それらのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「星笛」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○	
	(3) 声部の役割を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 声部の役割を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜音のスケッチ＞ 和音に合わせて せんりつをつくろう (2時間扱い・7月)	(1) 旋律と和音の関わり，旋律のまとまりについて，それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに，音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 旋律と和音の関わり，旋律のまとまりについて，それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。			○
	(2) 旋律や和音の響きを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え，どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。			○
	(3) I IV Vの和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に学習活動に取り組み，ハ長調の主要三和音や旋律づくりに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 旋律や和音の響きを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え，どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○
			【主-①】 I IV Vの和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
オーケストラのみりよく (3時間扱い・9月)	(1) 曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 楽器の音色や楽器群ごとの響き、旋律の反復と変化を聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見出し、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音色や楽器群ごとの響き、旋律の反復と変化を聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見出し、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	楽器の音色や楽器群ごとの響き、旋律の反復と変化を聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴き、オーケストラの音楽を楽しむ。	◎組曲「カレリア」から「行進曲風に」	○オーケストラの楽器の名前や、楽器群について知り、組曲「カレリア」から「行進曲風に」を、オーケストラの響きを楽しんで聴く。 ○旋律の反復と変化に気付き、楽器群の音色を捉えて聴く。 ○曲の構造や旋律を演奏する主な楽器の変化を捉え、曲全体を聴く。	【主-①】 楽器群の響きや作品の背景に興味をもち音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「行進曲風に」の曲想と、楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-①】 「行進曲風に」の楽器の音色や楽器群ごとの響き、旋律の反復と変化を聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見出し、曲全体を味わって聴いている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌 唱	器 楽	づ 音 楽 り	鑑 賞
<につぼんのうた みんなのうた> 「赤とんぼ」 (1 時間扱い・9 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「赤とんぼ」の曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○	○		
	(2) 旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「赤とんぼ」を歌う技能を身に付けている。 ○	○		
	(3) 歌詞の抑揚や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の歌曲に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 「赤とんぼ」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ○	○		
			【主-①】 「赤とんぼ」の歌詞の抑揚や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ○	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌 唱	器 楽	音 楽 づ く り	鑑 賞
音楽の旅 (6 時間扱い・10～11 月)	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○			○
			呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○	○		
	(2) いろいろな国の音楽の旋律や声、楽器の音色、音の重なり、拍の有無を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見出して聴いたりする。	思考・判断・表現	いろいろな国の音楽の旋律や声、楽器の音色、音の重なり、拍の有無を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見出して聴いたりしている。	○	○		○
	(3) 我が国や諸外国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な音楽やその表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	我が国や諸外国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2+ α	曲想と旋律などとの関わりについて理解するとともに、我が国の音楽の旋律や声、拍の有無を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、演奏のよさを見出して聴く。	子もり歌(共通教材) ◎会津磐梯山 ◎音戸の舟歌 (日本の民ようをたずねて)	○日本の子もり歌の節回しや旋律の特徴を生かし、表情豊かに歌う。 ○民謡を歌う声の出し方や節回し、拍に注目して、「会津磐梯山」と「音戸の舟歌」、身の回りの声の表現を聴く。 ○日本の民謡を、声の出し方や節回しの面白さなど、よさや特徴を感じ取りながら聴く。	【知-①】 「子もり歌」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-①】 我が国の音楽の旋律や声、拍の有無を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見出して聴いている。 【主-①】 我が国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

2+ α	呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けるとともに、我が国の音楽の旋律や声、楽器の音色、音の重なりが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	こきりこ節 (谷茶前)	○「こきりこ節」を、声の出し方や旋律の動き、呼吸や発音に気を付けて歌う。 ○「こきりこ節」を楽器の伴奏を加えて歌う。 ○「谷茶前」の演奏を聴き、曲想に合った表現の仕方を工夫して歌ったり、沖縄の音階やリズムの特徴を生かした音楽をつくったりする。	【技-①】 呼吸及び発音に気を付けて「こきりこ節」を歌う技能を身に付けている。 【思-②】 「こきりこ節」の旋律や声、楽器の音色、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【知-②】 沖縄県民謡の曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。
2	いろいろな国の音楽の、様々な旋律や声、楽器の音色、音の重なりが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、演奏のよさを見出して聴くとともに、諸外国に伝わる音楽の特徴や人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎世界の声の音楽 ◎世界の楽器のひびき	○世界のいろいろな国の音楽を鑑賞し、それぞれの音楽や表現のよさや面白さを味わう。 ○声や楽器のなかから一つ選んで、よさや面白さについて発表する。	【主-②】 諸外国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-③】 いろいろな国の音楽の旋律や声、楽器の音色、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見出して聴いている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
豊かな表現を求めて (4時間扱い・11～12月)	(1) 曲想と、拍とその流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、拍とその流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
			各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 拍やその流れ、フレーズ、旋律のもつリズムを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	拍やその流れ、フレーズ、旋律のもつリズムを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	(3) 曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、フォルクローレの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目 △＝関連する項目

の扱い めやす 時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
4	曲想と拍やその流れ、歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、拍やその流れ、フレーズ、旋律のもつリズムを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	風とケーナのロマンス 冬げしき (共通教材)	○「風とケーナのロマンス」の曲想や特徴を捉えながら、各声部をリコーダーで演奏する。 ○グループごとに演奏の工夫をする。 ○発表して意見を交流する。 ○「冬げしき」を主旋律の流れを確認し、曲想を感じ取って歌う。	【主-①】 「風とケーナのロマンス」の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 「風とケーナのロマンス」の拍やその流れ、フレーズ、旋律のもつリズムを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて「風とケーナのロマンス」を演奏する技能を身に付けている。 【知-①】 「冬げしき」の曲想と、拍とその流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<音のスケッチ> いろいろな声で 音楽をつくろう (2時間扱い・12月)	(1) 多様な声の表情や強弱について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 多様な声の表情や強弱について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解している。		○	
	(2) 多様な声の表現を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。	思考・判断・表現	【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。		○	
	(3) 詩をもとに声で音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、即興的な表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 詩をもとに声で音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<にっぽんのうた みんなのうた> 「スキーの歌」 (共通教材) (2時間扱い・1月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「スキーの歌」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○	○	○	○
	(2) 旋律のもつリズムの反復・変化、強弱、音の重なりを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「スキーの歌」の旋律のもつリズムの反復・変化、強弱、音の重なりを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ○	○	○	○
	(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「スキーの歌」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ○	○	○	○

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
ききどころを見つけて (3時間扱い・1～2月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 楽器の音色、旋律や音型の反復と変化、合いの手、速度を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音色、旋律や音型の反復と変化、合いの手、速度を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 様々な曲の特徴を見つけることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	様々な曲の特徴を見つけることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	曲想と旋律などとの関わりについて理解するとともに、楽器の音色、旋律や音型の反復と変化、合いの手、速度を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎つるぎのまい	○「つるぎのまい」を、曲の特徴に気を付けながら全体を通して聴く。 ○曲想とその変化などの特徴や、音楽を形づくっている要素の関わり合いを体の動きで表わし、曲の面白さや特徴を理解する。 ○曲全体の特徴や演奏のよさを味わって聴き、曲のよさや面白さについてまとめる。	【主-①】 「つるぎのまい」の様々な特徴を見つけることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「つるぎのまい」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-①】 「つるぎのまい」を演奏している楽器の音色、旋律や音型の反復と変化、合いの手、速度を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
わたしたちの表現 〈選択 A 器楽〉 (3 時間扱い・2～3 月)	(1) 曲想と音楽の構造との関わりを理解するとともに、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりを理解している。	○		
			各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○		
	(2) 声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○	
	(3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、短調の響きや器楽合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い めやす 時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	声部の関わり合いや全体の響きの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、1 年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	ルパン三世のテーマ	○「ルパン三世のテーマ」の曲想を捉え、それぞれのパートを分担し、自分の担当するパートの役割や特徴について考える。 ○合奏したり、パートごとに練習したりする。 ○合奏を仕上げ、学習活動を振り返る。	【知-①】 「ルパン三世のテーマ」の曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 【主-①】 「ルパン三世のテーマ」を音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【技-①】 「ルパン三世のテーマ」の各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【思-①】 「ルパン三世のテーマ」の声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
わたしたちの表現 〈選択 B 歌唱〉 (3 時間扱い・2～3 月)	(1) 曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部の歌声、全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解している。	○		
			各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○		
	(2) 声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○		
	(3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、短調の響きや合唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い めやす 時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	声部の関わり合いや全体の響きの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、1 年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	君をのせて	○「君をのせて」の主旋律の歌い方を工夫する。 ○下声部を捉え、二部合唱したり、パートごとに練習したりする。 ○合唱を仕上げ、学習活動を振り返る。	【知-①】 「君をのせて」の曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解している。 【主-①】 「君をのせて」を声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【技-①】 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、「君をのせて」を自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。 【思-①】 声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「君をのせて」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<音のスケッチ> ずれの音楽を楽しもう (2時間扱い・3月)	(1) 反復するリズムのずれによる音楽の縦と横との関係について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 反復するリズムのずれによる音楽の縦と横との関係について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解している。			○
			【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。			○
	(2) リズムのずれによる音のかみ合わせりを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったことの関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 リズムのずれによる音のかみ合わせりを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったことの関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○ ○
	(3) リズムのずれによる音のかみ合わせりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、インターロッキングの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 リズムのずれによる音のかみ合わせりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	づ音楽 く楽 り	鑑賞
<変奏曲を楽しもう> ピアノ五重奏曲「ます」 第 4 楽章から (3 時間扱い・随時)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	【知-①】 「ます」第 4 楽章の各変奏の曲想と、旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。			○
	(2) 主題の変化や伴奏の動き、楽器同士の関わり合いを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	【思-①】 「ます」第 4 楽章の主題の変化や伴奏の動き、楽器同士の関わり合いを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いている。			○
	(3) 変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、室内楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

令和5年度 音楽年間指導計画（6年）

6年 p.4～5

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌 唱	器 楽	音 楽 鑑 賞
＜導入＞ 「つばさをください」 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「つばさをください」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○		
			【技-①】 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「つばさをください」を歌う技能を身に付けている。	○		
	(2) 旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「つばさをください」の旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○		
	(3) 歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「つばさをください」の歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜スキルアップ＞ 「バナハ」 (毎時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて、それらのよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、呼吸や発音の仕方に気を付けて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「バナハ」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりについて、それらのよさや面白さなどと関わらせて理解している。	○			
			【技-①】 呼吸や発音の仕方に気を付けて、「バナハ」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「バナハ」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 声の重なる響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 声の重なる響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜スキルアップ＞ 言葉をもとにリズムで遊ぼう！ (毎時扱い)	(1) 言葉の響き、リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 言葉の響き、リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。			○	
			【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) リズムの重なりや強弱・速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へ構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 リズムの重なりや強弱・速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へ構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
	(3) 言葉を生かして音色や強弱をさまざまに試し、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 言葉を生かしてリズムアンサンブルの音色や強弱をさまざまに試し、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
くにっぼんのうた みんなのうた＜ 「おぼろ月夜」 (共通教材) (2時間扱い・4月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「おぼろ月夜」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○	○		
	(2) 旋律や旋律のもつリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「おぼろ月夜」を歌う技能を身に付けている。 ○	○		
	(3) 歌詞や旋律の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 「おぼろ月夜」の旋律や、旋律のもつリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ○	○		
			【主-①】 「おぼろ月夜」の歌詞や旋律の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ○	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌 唱	器 楽	音 楽 づ く り	鑑 賞
短調のひびき (3時間扱い・4～5月)	(1) 曲想と調など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と調など音楽の構造との関わりについて理解している。	○	○		
			ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。		○		
	(2) 長調と短調の響きや速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲全体を味わって聴いたりする。	思考・判断・表現	長調と短調の響きや速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲全体を味わって聴いたりしている。		○		○
	(3) 長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、転調する音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付けるとともに、長調と短調の響きや速度の変化が生み出すよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫したり、曲全体を味わって聴いたりする。	マルセリーノの歌 ◎ハンガリー舞曲 第5番	○「マルセリーノの歌」を演奏し、イ短調とハ長調の違いについて理解する。 ○「マルセリーノの歌」をパートに分かれて練習し、合奏する。 ○調性の変化に気付いて「ハンガリー舞曲 第5番」を聴いたり、「マルセリーノの歌」を合奏したりする。	【知-①】 「マルセリーノの歌」の曲想と、調など音楽の構造との関わりについて理解している。 【技-①】 ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。 【主-①】 「マルセリーノの歌」の長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 長調と短調の響きや速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲全体を味わって聴いたりしている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
演奏のみりよく (4時間扱い・5～6月)	(1) 曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解している。	○			○
			各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			○
	(3) 演奏者の思いを感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラや合唱の響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	演奏者の思いを感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と強弱などとの関わりについて理解するとともに、演奏者の思いを感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎交響曲第5番「運命」第1楽章から	○交響曲第5番「運命」第1楽章をオーケストラの響きを感じ取り、「タタタターン」の音型を意識しながら聴く。 ○冒頭を、数種類の演奏で比較鑑賞したり、第1楽章全体を演奏表現に気を付けて聴いたりする。	【知-①】 「交響曲第5番」の曲想と、強弱など音楽の構造との関わりについて理解している。 【主-①】 演奏者の思いを感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
2	各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付けるとともに、旋律や音の重なりが生み出すよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	ぼくらの日々	○「ぼくらの日々」を、曲の特徴を捉えて二部合唱する。 ○自分たちの表現を目指して合唱する。	【技-①】 「ぼくらの日々」を各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付けている。 【思-②】 「ぼくらの日々」の旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌 唱	器 楽	音 楽	鑑 賞
＜めざせ 楽器名人＞ 「The Sound of Music」 (毎時扱い・6～7月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「The Sound of Music」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。		○		
			【技-①】 各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて「The Sound of Music」を演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) リコーダーの音色や旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 リコーダーの音色や旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	(3) 声部の役割や全体の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダー・アンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 声部の役割や全体の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<音のスケッチ> 動機をもとに音楽をつくろう (4時間扱い・6～7月)	(1) 動機の変化のさせ方やフレーズのつなげ方について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、リズムや音の高さを変化させて短いフレーズをつくったり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 動機の変化のさせ方やフレーズのつなげ方について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。		○	
	(2) 音の動き方やフレーズのつなげ方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 音楽リズムや音の高さを変化させて短いフレーズをつくったり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする技能を身に付けている。		○	
	(3) 動機の変化のさせ方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、動機をもとにした旋律づくりに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 動機の変化のさせ方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌 唱	器 楽	づ く り 音 楽	鑑 賞
くにっぼんのうた みんなのうた＜ われは海の子（共通教材） （1 時間扱い・7 月）	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「われは海の子」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	(2) 旋律の流れやまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「われは海の子」を歌う技能を身に付けている。	○			
	(3) 歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 「われは海の子」の旋律の流れやまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
			【主-①】 「われは海の子」の歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
ひびき合いを生かして (4時間扱い・9月)	(1) 曲想と声部の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。				○
			各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 楽器の音の重なる響きや旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	楽器の音の重なる響きや旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	(3) 旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱を楽しむ。	主体的に学習に取り組む態度	旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い めやす 時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
4	曲想と声部の重なりなどとの関わりについて理解するとともに、楽器の音や旋律の重なりが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	ロック マイ ソウル カノン ◎カノン	○「ロック マイ ソウル」をグループに分かれて歌詞唱する。 ○鑑賞曲「カノン」を聴いて、気付いたことを発表する。 ○「カノン」の各声部を演奏する。 ○「カノン」を8～10人ずつのグループに分かれて合奏し発表する。	【主-①】 「ロック マイ ソウル」の旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「カノン」の曲想と声部の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。 【技-①】 各声部や全体の響きを聴きながら「カノン」を演奏する技能を身に付けている。 【思-①】 楽器の音の重なる響きや旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、「カノン」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
ききどころを見つけて (3 時間扱い・10 月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 楽器の音色や楽器同士の関わり、旋律の反復や変化を聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出す。	思考・判断・表現	楽器の音色や楽器同士の関わり、旋律の反復や変化を聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出す。				○
	(3) バイオリンとピアノによるアンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、室内楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	バイオリンとピアノによるアンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	曲想と、旋律や音色などとの関わりについて理解するとともに、楽器の音色や楽器どうしの関わり、旋律の反復や変化が生み出すよさなどを感じ取りながら、曲のよさを見出す。	◎バイオリンとピアノのためのソナタ第4楽章	○「バイオリンとピアノのためのソナタ 第4楽章」の前半部を、曲の特徴やバイオリンとピアノの関わり合いに気を付けながら聴く。 ○音楽を形づくっている要素の関わり合いを体の動きで表し、曲の面白さや特徴を理解する。 ○曲想やその変化などの特徴や、音楽を形づくっている要素などとの関わり合いに気を付けて全曲通して聴き、気付きを交流したり感想をまとめたりする。	【知-①】 「バイオリンとピアノのためのソナタ第4楽章」の曲想と、旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。 【主-①】 バイオリンとピアノによるアンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 バイオリンとピアノの音色や二つの楽器同士の関わり、旋律の反復や変化を聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出す。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
豊かな表現を求めて (6時間扱い・10～12月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○	○	
			各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○		
	(2) 旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○	
	(3) 曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ジャズをもとにした音楽や器楽合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解するとともに、旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きが生み出すよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	明日を信じて	○「明日を信じて」の旋律の流れを捉え、歌詞との関わりを生かして歌う。 ○アイウの部分ごとに、どのように歌っていくか考えて二部合唱する。 ○合唱を仕上げ、響き合いを楽しみながら歌う。	【知-①】 「明日を信じて」の曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 【思-①】 「明日を信じて」の旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 各声部や全体の響き、伴奏を聴き、「明日を信じて」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。

3	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	L-O-V-E	○「L-O-V-E」の主旋律と副次的旋律の部分を捉え演奏する。 ○各パートの音や役割を確認し、グループに分かれ、担当を決めて演奏する。 ○グループごとに発表したり、各グループを続けて演奏したりする。	【主-①】 「L-O-V-E」の曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「L-O-V-E」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-②】 「L-O-V-E」の旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
---	---	---------	--	---

＜コーナー名＞ （扱い時数・扱い月のめやす）	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜音のスケッチ＞ じゅんかんコードを もとにアドリブで遊ぼう （3 時間扱い・12 月）	（1）旋律と和音との関わりについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 旋律と和音との関わりについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。			○	
			【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付けている。			○	
	（2）和音の響きや旋律との関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得る。	思考・判断・表現	【思-①】 和音の響きや旋律との関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得ている。			○	
	（3）反復するコード進行に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、循環コードの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 反復するコード進行に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
私たちの国の音楽 (4時間扱い・1月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
			呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の特徴や反復と変化、声や楽器の音色、楽器同士の関わり合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律の特徴や反復と変化、声や楽器の音色、楽器同士の関わり合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いたりしている。	○	○		○
	(3) 我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	旋律の特徴、歌声や楽器の音色が生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	越天楽今様 (共通教材)	○「越天楽今様」のうたの旋律を、情景を思い浮かべ、呼吸や発音に気を付けて歌詞唱する。 ○グループに分かれて表現の工夫をしたり、全員で合奏したりする。	【技-①】 呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「越天楽今様」を歌う技能を身に付けている。 【思-①】 「越天楽今様」の旋律の特徴、声や楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもっている。
2	我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもつとともに、曲想と旋律や音色などとの関わりについて理解する。	◎春の海	○「春の海」を、雰囲気を感じ取り、楽器の音色に気を付けて聴く。 ○旋律の変化と再現に注目して聴いたり、曲全体を味わって聴いたりする。	【主-①】 我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「春の海」の曲想と、旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。

				【思-②】 「春の海」の旋律の特徴や反復と変化、楽器の音色や楽器同士の関わり合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いている。
--	--	--	--	--

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
音楽に思いをこめて 〈選択 A 「ふるさと」 ＋器楽〉 (3 時間扱い・2～3 月)	(1) 曲想と旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解している。	○		
			各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○		
	(2) 旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○	
	(3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱や二重奏・二部合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い めやす 時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
1	曲想と、旋律の流れや歌詞との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	ふるさと (共通教材)	○「ふるさと」を、旋律の流れやまとまり、歌詞との関わりを生かして二部合唱する。	【知・技-①】 「ふるさと」の曲想と、旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
2	旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きが生み出すよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、1 年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	Take Me Home, Country Roads (ふるさと)	○「Take Me Home, Country Roads」を、パートの役割を捉えて二部合奏する。 ○ペアやグループで発表し、学習を振り返る。	【主-①】 「Take Me Home, Country Roads」を音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 「Take Me Home, Country Roads」の旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
音楽に思いをこめて 〈選択B「ふるさと」 ＋歌唱〉 (3時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律の流れなど音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。	○			
			各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律の流れや関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い めやす 時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
1	曲想と、旋律の流れや歌詞との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	ふるさと (共通教材)	○「ふるさと」を、旋律の流れやまとまり、歌詞との関わりを生かして二部合唱する。	【知・技-①】 「ふるさと」の曲想と、旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
2	旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きが生み出すよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	さようなら	○「さようなら」を、曲の特徴を捉えて二部合唱する。 ○自分たちのイメージに合う表現を工夫して歌い合わせる。	【主-①】 「さようなら」を、声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 「さようなら」の旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜音のスケッチ＞ 役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう (3時間扱い・3月)	(1) もととする二つの音階の響きの特徴、各声部の役割を、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 もととする二つの音階の響きの特徴、各声部の役割を、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。 【技-①】 設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付けている。			○	○
	(2) 二つの音階の響きや各声部の役割を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見出して聴いたりする。	思考・判断・表現	【思-①】 二つの音階の響きや各声部の役割を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見出して聴いたりしている。			○	○
	(3) 役割を生かした音楽づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、全音音階や黒鍵だけの5音音階に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 役割を生かした音楽づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜ジャズとクラシック 音楽の出会い＞ ラブソディー イン ブルー (2時間扱い・随時)	(1) 曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	【知-①】 「ラブソディー イン ブルー」の曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解する。				○
	(2) 旋律やリズム、特徴的な楽器の奏法や、ピアノとオーケストラのかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさや楽しさを見出して聴く。	思考・判断・表現	【思-①】 「ラブソディー イン ブルー」の旋律やリズム、特徴的な楽器の奏法や、ピアノとオーケストラのかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさや楽しさを見出して聴いている。				○
	(3) ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ピアノとオーケストラによる音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目